

中央大学学術シンポジウム研究叢書

13. 『グローバル文化史の試み』

2023年3月30日発行

縄田 雄二・小山 憲司 編 中央大学出版部発行

定価：本体 3,000円（税別）

ISBN 978-4-8057-6193-9

目次	
はじめに	
第Ⅰ部 交流の無い二地域の文学を比較する	
第1章 1000年－1340年のドイツ語圏と日本の歌集 —比較の試み—	寺田 龍男 吉野 朋美 縄田 雄二
第Ⅱ部 ユーラシアの科学と文化	
第2章 グローバルに文化を問うこと —作図についてモンゴル帝国期東西天文学交流を例に—	諫早 庸一
第Ⅲ部 上演空間と舞台技術 —比較演劇史の一視点—	
第3章 映写技術と舞台 —光、空間、政治的身体—	カイ・ファン・アイケルス
第4章 上演空間、舞台技術、筆記面の歴史としての世界演劇史	縄田 雄二
第Ⅳ部 現代オペラの国際性	
第5章 オペラを通して「アフリカ」に出会う —現代の上演の現場から—	森岡 美穂
第6章 細川俊夫作曲マルセル・バイア—台本のオペラ「地震・夢」	縄田 雄二
第Ⅴ部 世界の諸地域、諸時代の文化についての学術情報	
第7章 人文学と学術情報流通	小山 憲司
第8章 楔形文字資料と人文情報学	唐橋 文
第9章 中国と琉球の学術研究の舞台裏	水上 雅晴
第10章 資料とそのゆくえ	鈴木 俊幸
第11章 グリニッジ天文台における文書管理の技法 —ジョージ・エアリとアーカイブスの形成—	石橋 悠人
第12章 日本のドイツ文学研究における学術情報流通	縄田 雄二
あとがき —開催したシンポジウムの記録—	